

の中二次の誤り並びに脱落がありましたので此処に訂正並びに補足しておきます。

P.6. Family Nayidae マキバサシガメ科 → Family Nabidae マキバサシガメ科

P.10. 中国 類昆虫 定手冊 → 中国 蜻類昆虫 鑑定手冊

(たかはし としお)

## ヒメアカタテハの越冬について

堀田 久<sup>2</sup>

ヒメアカタテハは、決まった越冬態を持たない種として知られている。これまでの調査では、関東地方や長野県では成虫は冬期に死滅し、関東平野の南部では若令幼虫で、最寒期もゆっくり成長しながら過ごすことが確かめられている。一方西南日本の暖地では、あらゆる発育段階での越冬が可能で、冬眠はしないといわれている。

淡路島ではこれまでのところ、本種の越冬についての報告はなく、兵庫県下でも詳しい調査はされていないようである。筆者は本年（1996年）の1月初めから4月初めにかけて、洲本市安乎町北谷の自宅付近で、本種の成虫の活動状況を観察したので報告しておきたい。

1996年

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 1月3日  | キクの花で吸蜜中の5個体を確認する。       |
| 1月7日  | キクの花で吸蜜中の1個体を確認する。       |
| 1月12日 | キクの花で吸蜜中の2個体を確認する。       |
| 1月20日 | キクの花で吸蜜中の3個体を確認する。       |
| 1月27日 | キクの花で吸蜜中の1個体を確認する。       |
| 2月14日 | 枯れ草に止まった1個体を確認する。        |
| 2月15日 | オオイヌノフグリの花で吸蜜中の1個体を確認する。 |
| 2月23日 | 枯れ草に止まった1個体を確認する。        |
| 3月8日  | 地面に止まった1個体を確認する。         |
| 3月22日 | オオイヌノフグリの花で吸蜜中の1個体を発見する。 |
| 4月3日  | 畑の土の上に止まった1個体を確認する。      |

上記の観察記録から、洲本市安乎町において、ヒメアカタテハが成虫で冬を越し、最寒期も冬眠することなく、吸蜜活動を続けていることが確認できた。ただし、今年の冬は比較的暖かく、1月3日にはベニシジミの成虫を目撃し、2月15日にはヤマトシジミの新鮮な雄を目撃している。冬の寒さが厳しい年でも、本種の成虫が越冬できるかどうかは今後の課題である。

(ほりた ひさし)